

【基本方針1】いじめ撲滅に向けた施策の総合的な推進	
① いじめの未然防止・予防の徹底	
○ 豊かな情操や道徳心, 自己肯定感や自己有用感の育成	
★ いじめ防止対策推進 (いじめ防止「きずな」キャンペーン等)	12,211千円
☆ いじめ防止教材 (DVD)購入	7,600千円
○ 小中連携の推進	
・ 中1 数学少人数指導の実施	67,706千円
・ 小学校高学年教科担任制の実施	38,289千円
☆ 小中学校の接続・連携の調査研究モデル事業	219千円
② いじめの早期発見・早期対応	
○ 教職員の対応力向上のための研修の充実	
・ いじめ防止対策研修	340千円
○ 子どもや保護者がいつでも相談できる窓口設置, 教員のための相談窓口の設置	
☆ 24時間いじめ相談専用電話設置	13,892千円
☆ いじめ対応教職員相談事業	6,626千円
③ 教職員が子どもに向き合える体制づくり	
○ いじめ対策を最優先とした教職員の配置	
☆ 全市立中学校等へのいじめ対策専任教諭の配置	(県費負担)
☆ 小学校への児童支援教諭の配置	(県費負担)
☆ いじめ対策支援員配置	24,637千円
○ 教職員の多忙化解消の取組み	
★ スクールカウンセラー等配置	132,620千円
★ スクールソーシャルワーカー配置	14,824千円
・ インターネット巡視	5,014千円
・ 生徒指導 (問題行動対策)	7,724千円
・ さわやか相談員等配置	19,436千円
・ 自立支援指導員の派遣	2,773千円
・ 学校事務の共同実施及び事務補助員の配置	7,159千円
★ 校務支援システム導入	550,000千円
○ 県費負担教職員の権限移譲を踏まえた体制づくり	
★ 教員採用選考事業	5,709千円
★ 県費負担教職員権限移譲事務	15,911千円
④ 家庭や地域との連携強化	
○ 地域社会全体での子どもの育成	
★ 学校支援地域本部	40,162千円

【基本方針2】学力・体力の向上や規範意識の醸成などを核とする学校教育施策への支援	
○ 確かな学力・健やかな体・社会を生き抜く力の育成	
・ 標準学力検査, 生活・学習状況調査の実施	88,658千円
・ 教科指導エキスパート派遣	7,125千円
・ 小学校理科学習アシスタント事業	7,288千円
・ 少人数指導の実施	126,581千円
・ 小1生活・学習サポーター配置	3,310千円
☆ 新たな学校教育準備プログラム推進事業	12,970千円
・ 特色ある高校づくり	15,435千円
・ 児童生徒の体力・運動能力向上推進	56,964千円
・ 学校給食	5,439,574千円
・ 仙台版「たくましく生きる力」育成プログラム	151千円
・ 学校での自分づくり教育の推進	8,267千円
・ 仙台子ども体験プラザ運営管理	53,534千円
○ 道徳教育の充実	
★ 環境教育, 福祉教育・人権教育の推進	2,857千円
○ 教員の実践的指導力を高めるための研修の充実	
・ 教員の授業力向上のための研修	8,692千円
○ ハンディや問題を抱えている子どもへの対応の充実	
・ 就学支援推進事業	2,403千円
・ 特別支援教育体制の充実	1,959千円
・ 特別支援学級指導支援員・特別支援教育指導補助員の配置	341,570千円
☆ 特別支援教育介助員配置事業	4,535千円
・ 看護師やOT・PT等の派遣	72,121千円
・ 適応指導事業	22,984千円
・ 不登校支援サポート事業	278千円
★ 学校給食センター対象校アレルギー対応拡充事業	25,110千円

【基本方針3】地域と連携した家庭の教育力向上の支援	
○ 親子が一緒に学び触れ合いを深める機会の充実	
・ 親子食育講座	1,842千円
・ 家庭学習ノート仙台	3,565千円
○ 親の不安や悩みの解消を図る取組みや家庭教育について学び考える機会の充実	
・ 子育て講座	469千円

【基本方針4】市民の継続的な学びの創出と市民力の育成

○ ライフステージに応じたネットワークづくりや社会を生き抜く力を身に付ける学びの支援

・ せんだいメディアテーク運営管理	660,603千円
・ 科学館運営管理	192,691千円
・ 天文台運営管理	730,241千円
・ 市民センター運営管理	606,616千円
・ 市民センター学習情報提供システム運営	16,310千円
・ 図書館資料の充実	150,771千円
・ せんだいメディアテーク震災アーカイブ運営	14,638千円
・ 図書館運営管理（資料購入費を除く）	543,407千円
・ 子ども読書活動推進	571千円

○ 学びの成果を社会の中で発揮できる仕組みづくり

・ 故郷復興プロジェクト	600千円
・ 子ども参画型社会創造支援	2,113千円

○ ・文化・芸術活動を通じた学びや交流の機会の支援

・ 学校における音楽・芸術の鑑賞会	42,055千円
・ せんだいメディアテーク芸術文化・生涯学習事業	13,549千円
☆ せんだい・アート・ノード・プロジェクト事業	30,000千円

【基本方針5】地域づくりに資する学校や社会教育施設など教育資源の有効活用

○ 学校・家庭・地域が連携して学ぶ環境の創出

・ マイスクールプラン2 1 推進	7,686千円
・ 学校図書室開放	6,448千円
・ 学校体育施設開放	45,664千円

○ 社会教育施設の機能の充実と学びを通じた地域コミュニティ形成の支援

・ 科学館改修等事業	20,180千円
・ 泉岳自然ふれあい館運営管理	120,934千円
・ ジュニアリーダー育成支援	1,405千円
・ 学びのコミュニティづくり推進	1,730千円
★ 放課後子ども教室推進	32,071千円
・ 土曜日の教育支援体制等構築事業	1,386千円

【基本方針6】安全・安心な教育環境の構築

○ 市民から信頼される安全・安心な学びの場の整備	
・ 学校における放射性物質対策	4,029千円
☆ 防犯監視カメラ設置工事	10,065千円
・ 学校防犯巡視員派遣	28,041千円
・ 学校ボランティア防犯巡視員	2,918千円
○ 教育施設の適正な保全・更新等による良好な教育環境づくり	
・ 学校教育施設整備	7,347,424千円
★ 学校トイレ改修・洋式化推進事業	686,808千円
・ 学校給食センター整備事業	107,999千円
・ 少年自然の家解体事業	165,089千円
・ 博物館維持修繕	160,858千円
・ 科学館維持修繕	24,042千円
★ 学校給食公会計化事業	4,931千円
○ 急速に進展する情報社会に対応する教育の充実	
・ 校内LAN整備・教育用PC整備	776,140千円
★ 情報モラル教育推進事業	1,272千円
☆ 市立小中学校等へのタブレット端末導入検討	4,578千円

【基本方針7】復興後を見据えた教育の推進

○ 被災した子どもたち一人ひとりを支える取組みの推進	
・ 震災に伴う児童生徒の心のケア	32,363千円
・ 被災児童生徒就学援助	32,914千円
○ 自然を正しく捉え防災力を高め、後世に震災の教訓を伝えるための取組みの推進	
・ 防災教育の推進	9,521千円

【基本方針8】人口減少社会に対応した教育の取組み	
○ まちづくりや地域課題解決の担い手を育成する取組みの推進	
・ 若者社会参画型学習推進	2,142千円
・ 住民参画・問題解決型学習推進	2,012千円
・ 「学びのまち・仙台」市民カレッジ	1,147千円
○ 郷土に対する理解を深め愛着や誇りを持つ人づくり	
・ 博物館運営管理	233,824千円
・ 歴史民俗資料館運営	73,950千円
・ 富沢遺跡保存館運営管理	100,828千円
・ 縄文の森広場運営管理	66,780千円
・ 仙台市史活用推進（旧：市史編さん）	12,493千円
・ 郡山遺跡整備事業	276,657千円
・ 仙台城跡整備推進事業	22,077千円
★ 陸奥国分寺・国分尼寺跡整備事業	472,566千円
・ 文化財の調査、指定・登録	3,652千円
・ 埋蔵文化財の発掘調査	762,882千円
・ 文化財普及啓発事業	9,966千円
○ 「育ち・学び・働き・住み」続けられる暮らしやすいまちづくり	
・ 高等学校開放講座	200千円
・ 仙台・宮城ミュージアムアライアンス	3,615千円
・ サイエンススクール	968千円
・ 楽学プロジェクト事業	616千円
・ 社会学級	6,356千円
・ 科学館学習・天文台学習	22,259千円
・ 学びを支える人材育成推進事業	1,263千円
・ P T A活動支援	39,185千円
・ 嘱託社会教育主事	1,112千円
○ 町内会活動等の地域コミュニティを踏まえた学校や学区のあり方の検討	
・ 学校規模適正化推進事業	157,615千円
○ 子どもが置かれている状況に関わらず安心して学べる環境づくり	
・ 就学援助	711,837千円
・ 遠距離通学児童生徒通学費補助	14,129千円
・ 特別支援教育就学奨励	31,395千円
・ 高等学校修学資金借入支援	3,900千円
○ 高齢者の生きがいづくりにつながる子どもとの交流支援	
・ 大倉ふるさとセンター運営管理	25,070千円

※各事業は複数の基本方針に該当するものであっても、最も関連が強い箇所に記載しております(再掲はしていません)